IT日和 vol.34 WEARABLEあるある

イラスト 山本ゆうか

今月の会員の広場では，12 月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，特別解説「米大統領選におけるソーシャルメディア干渉疑惑」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■ホットな話題だが，その経緯についてはすでに CNN や The New York Times などのマスメディアで連日のように詳細に報道されている．後続の「小特集」とも重複している．本会誌の特別解説としては，情報技術を基盤とする社会システムにおいて民主主義を危機に陥れかねない最上位の脅威の 1 つである「フェイクニュース」に対して，情報技術がどう貢献できるのか，社会システムや人文科学とどう協調すべきか，という解説が欲しかった．（南谷　崇）

■興味深い内容でしたが，今号に限らず特別解説をもう少し厚く（ページ数を割いて）してほしかった．（匿名希望／ジュニア会員）

小特集「ディジタルゲリマンダとは何か」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■同じ内容が重複して複数の記事に登場しているように感じた．小特集を組むにはまだ時期尚早なのでないかと思った．解説で 1 本の記事で十分と思う．（三木清一）

■フェイクニュースの拡大やメディアの情報操作等色々と考えさせられるきっかけとなる特集でした．（阿部一晴）

■今回の小特集はタイムリーであり，大いに期待したが，「情報技術からの貢献」という本会誌ならではの視点が弱かったのが残念．（南谷　崇）

■ビッグデータと選挙戦略だが過信しすぎては良くない点も興味深い．（横山久美）

■「文理の壁をなくす」良い例だと思う．このような記事が定期的に掲載されてほしい．（匿名希望／ジュニア会員）

■特集としてはそこそこ面白かったが，どの記事も同じようなことを小難しく書いていて分かりにくかった．（匿名希望）

■非常に興味深かったです．新たな知識を得ることができました．（梅田博之）

■今まで知らなかったがさまざまなアプローチからディジタルゲリマンダを知ることができてためになったと思う．（澤　佳祐／ジュニア会員）

「3．ソーシャルメディアと想像の共同体」

■ Twitter や SNS に対して感じていることについて非常に腑に落ちる主張がなされていた．（匿名希望）

「4．ディジタルゲリマンダへの工学的アプローチ」

■ SNS による選挙操作に対して情報技術が貢献できる分野のヒントを提供していて興味が持てる．今回の「小特集」に期待していた内容の 1 つ．（南谷　崇）

シニアコラム「IT 好き放題：Rembrandt の『新作』：ビッグデータの学習」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■それについて調べるきっかけができた．（神長和花／ジュニア会員）

小特集「ファイルシステムとストレージ」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■ファイルシステムについてよく分かった．（髙橋輝大／ジュニア会員）

■ファイルシステムの記事は良かった．フォルダ，ファイルの整理方法，作業（ToDo，チケット等）の管理方法など，身近な話題も取り上げてほしい（生産性等に大きくかかわるので……）．（匿名希望）

■ファイルシステムの記事は（知っている人には無用かもしれないが）広く浅く分かりやすく書かれていて，「へぇそうなってるんだ」と素直に感心した．（匿名希望）

■細かい説明は，読み飛ばしてしまいました．（匿名希望）

■最近，知った言葉にコールドストレージがある．今回のファイル特集にはその最新動向があり理解が深まった．今は，AI と IoT，ビッグデータの時代であり，データはその時代を記録してゆく．そうして，データはピラミッドのように積み上がり，後世に引き継がれてゆくのだろう．（匿名希望）

解説「双方向変換」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

■数式を使うのはいいが，表していることの説明がないので分からない．（匿名希望）

教育コーナー「ぺた語義」については，以下のようなご意見・ご感想をいただきました．

「enPiT ってなんですか？」

■ enPiT の取り組みは工学部の修論や卒論の枠組みで実践してきたことと近いと思った．（匿名希望）

■ enPiT について非常に興味を持った．ぜひ，特集していただきたい．（匿名希望）

「実践的情報教育の教育効果をはかる」
■ enPiT の目的である実践的教育とその効果について大変分かりやすく解説されていると思います．記事では，実践的教育について焦点をあてられていたと思いますが，enPiT では実践力を養うために具体的にどのようなことを行うのかについても書かれているとよいと思いました．（匿名希望）

「enPiTと女性部会WiTの活動を通じたしなやかな働き方の模索」
■「しなやかな働き方」が女性には必要という書き方は，結婚や出産を多数の女子がするだろうというジェンダーバイアスのある書き方だと判断される可能性がある．
（匿名希望／ジュニア会員）

■子供を抱っこしての学会発表は賛同できない．（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■以前会員の広場でどなたかも書かれていたと思いますが連載漫画は相変わらず掲載意義がよく分かりません……．そして誤字脱字も相変わらず目立ちます．（匿名希望）

■ジュニア会員向けの記事を短くてもいいので載せてくれればいいなと思います．たとえば，中高校の情報処理学会に関係する部活動の紹介など．（匿名希望／ジュニア会員）

■ 1 ページ程度でまとまった記事は，内容を把握しやすく，インパクトに残る場合が多い気がします．（匿名希望）

■ Microsoft Azure や AWS や Google Cloud Platform などの Cloud について取り上げてほしいです．（中野雄貴／ジュニア会員）

■ IT 関連（またはユーザ組織における IT）の産業構造の将来像について読んでみたいです．（匿名希望）

■今後取り上げてほしいテーマ：高大接続テスト関連（CBT, IRT とか）．（奥村晴彦）

■目次のところの指標が区分的にも視覚的にも分かりづらいです．できれば，ジュニア会員の意見を取り入れるなどして改善していただきたいです．（匿名希望）

■今回は両特集ともに興味をそそるテーマで，読み応えもあり今まで読んだ号の中では一番楽しかったです．
（梅田直希／ジュニア会員）

■今までの人たちが残してきた作品から，AI が何をどうやって学ぶのかを簡単に解説する企画が読みたいです．来月号も楽しみにしています．（神長和花／ジュニア会員）

■今までに取り扱っていない内容を取り上げてもらえると読む気が起こるかもしれません．（匿名希望）

■今回のように技術だけでなく法律など多様な観点からのトピックがあると個人的には面白いです．（匿名希望）

■今号の特集のようなニュースで取り上げられるような社会的問題に大変興味を持った．ぜひほかの内容についても取り上げてほしい．（匿名希望／ジュニア会員）

■今回の会誌は興味をひかない内容であった．（伊藤康彦）

【本欄担当　中澤里奈，青木秀貴／会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html > にも掲載しています．Web 版では，紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので，ぜひ，こちらもご参照ください．会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，
・記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言
・その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言
など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
なお，「道しるべ」については
<URL：https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> で
これからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．
※ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

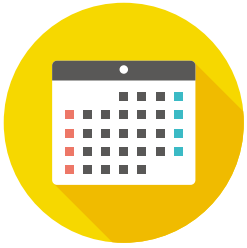
掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．
なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．　<URL：https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

応募先　〒 101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
一般社団法人　情報処理学会　会誌編集部門　E-mail : editj@ipsj.or.jp　Fax (03) 3518-8375
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html

IPSJ カレンダー

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-W.html	2月16日（金）		
	論文誌「セキュリティ人財と技術で目指す信頼できる社会基盤の実現に向けて」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-Z.html	2月26日（月）		
	東海支部2017年度 学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyou/shourei/	3月15日(木)		
	論文誌「未来の暮らしを支えるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-C.html	3月31日（土）		
	論文誌「全ての人とモノがつながる社会に向けたコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-D.html	4月2日（月）		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-H.html	4月27日(金)		
2月16日（金）	第79回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip79.html	1月6日（金）	当日のみ	京都佛教大学 二条キャンパス
2月16日（金）～ 2月17日（土）	第129回 情報基礎とアクセス技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat129.html	12月15日（金）	当日のみ	ティーオージー会議室
2月17日（土）～ 2月18日（日）	第143回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce143.html	12月28日（木）	当日のみ	武庫川女子大学
2月20日（火）～ 2月21日（水）	第118回音楽情報科学・第120回音声言語情報処理合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus118slp120.html	12月26日（火）	定員になり次第	筑波山 江戸屋旅館
2月26日（月）～ 2月27日（火）	第86回モバイルコンピューティングとパーベイシブ・第57回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl86ubi57.html	12月14日（木）	当日のみ	上智大学 四谷キャンパス
2月27日（火）～ 2月28日（水）	第142回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os142.html	1月16日（火）	当日のみ	北海道大学 札幌キャンパス
2月28日（水）～ 3月1日（木）	第118回プログラミング研究発表会 https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2017-5/	12月28日（木）	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
2月28日（水）～ 3月2日（金）	第163回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc163.html	12月28日（木）	当日のみ	ひめぎんホール 多目的室
3月1日（木）～ 3月2日（金）	第211回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim211.html	1月5日（金）	当日のみ	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
3月1日（木）～ 3月2日（金）	第117回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps117.html	1月10日（水）	当日のみ	指宿市民会館
3月2日（金）	第39回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi39.html	1月12日（金）	当日のみ	東京大学生産技術研究所 駒場IIキャンパス
3月3日（土）	第169回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg169.html	1月12日（金）	当日のみ	φカフェ（東京都文京区）
3月4日（日）	第190回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics190.html	1月15日(月)	定員になり次第	北海道ルスツリゾートホテル
3月4日（日）	GAT2018シンポジウム http://minerva.cs.uec.ac.jp/gat_uec/wiki.cgi?page=%C2%E8%A3%B3%B2%F3GAT2018#p3	2月13日(火)	当日可	電気通信大学内
3月5日（月）～ 3月6日（火）	第40回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot40.html	1月15日（月）	当日のみ	鬼怒川温泉ホテル 栃木県日光市
3月5日（月）～ 3月6日（火）	第143回情報システムと社会環境研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is143.html	1月16日（火）	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月5日（月）～ 3月6日（火）	第174回 マルチメディア通信と分散処理・第80回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps174csec80.html	1月19日(金)	当日のみ	NTTデータ 豊洲センタービル
3月5日（月）～ 3月7日（水）	インタラクション2018 http://www.interaction-ipsj.org/2018/		当日可	学術総合センター
3月6日（火）～ 3月7日（水）	第100回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm100.html	1月22日（火）	当日のみ	沖縄セルラー電話（株）
3月7日（水）～ 3月8日（木）	第222回システム・アーキテクチャ・第183回システムとLSIの設計技術・第47回組込みシステム合同研究発表会（ETNET2018） https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc222sldm183emb47.html	1月12日（金）	当日のみ	隠岐の島文化会館
3月7日（水）～ 3月8日（木）	第27回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt27.html	1月18日(木)	当日のみ	沖縄北部雇用能力開発総合センター
3月8日（木）	第167回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al167.html	1月18日（木）	当日のみ	サンポートホール高松
3月8日（木）～ 3月9日（金）	第72回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its72.html	1月23日（火）	当日のみ	島根大学松江キャンパス

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月9日（金）～ 3月10日（土）	第6回アクセシビリティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac6.html	1月16日（火）	当日のみ	筑波技術大学 春日キャンパス講堂
3月9日（金）～ 3月10日（土）	第198回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se198.html	1月22日（月）	当日のみ	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
3月9日（金）～ 3月10日（土）	第53回バイオ情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio53.html	1月25日（木）	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
3月13日（火）～ 3月15日（木）	情報処理学会 第80回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/80/	12月5日（火）	当日可	早稲田大学 西早稲田キャンパス
3月16日（金）	第11回高齢社会デザイン研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd11.html	2月1日(木)	CareWeek展示閲覧 のため事前登録を予定	東京ビックサイト
3月16日（金）～ 3月17日（土）	第177回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci177.html	1月22日(月)	当日のみ	明治大学 中野キャンパス
3月17日（土）～ 3月18日（日）	第144回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce144.html	1月28日(日)	当日のみ	獨協大学
3月19日（月）～ 3月20日（火）	第104回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn104.html	1月31日(水)	当日のみ	筑波大学 筑波キャンパス
3月21日（水）～ 3月22日（木）	第24回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle24.html	1月26日(金)	当日のみ	京都大学 学術情報メディアセンター
3月26日（月）	第191回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics191.html	2月16日(金)	当日のみ	静岡大学 浜松キャンパス
3月27日（火）	第130回情報基礎とアクセス技術・ 第108回ドキュメントコミュニケーション合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat130dc108.html	2月5日(月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月10日（木）～ 5月11日（金）	第212回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim212.html	3月9日(金)	当日のみ	大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館
5月28日（月）～ 5月30日（水）	The 2nd. cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrasctructures, and Programming（xSIG 2018） http://xsig.hpcc.jp/2018/	2月16日(金)		一橋講堂
9月3日（月）～ 9月5日（水）	The 13th International Workshop on Security（IWSEC2018） http://www.iwsec.org/2018/			東北大学 片平さくらホール
9月19日（水）～ 9月21日（金）	FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/			福岡工業大学
10月5日（金）～ 10月8日（月）	The 11th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking（ICMU 2018） http://www.icmu.org/icmu2018/			Unitec Institute of Technology
2019年				
1月21日（月）～ 1月24日（木）	24th Asia and South Pacific Design Automation Conference（ASP-DAC 2019） http://www.aspdac.com/aspdac2019/			日本科学未来館



Web ページ（https://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

1月15日	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集 論文募集
1月15日	人材募集情報（Vol.59 No.2）
1月15日	会誌「情報処理」Web カタログ（Vol.59 No.2）
1月12日	第80回全国大会 一般・学生セッションプログラム（簡易版）を公開しました
1月10日	［プレスリリース］人工知能に関わる国際標準化がスタート
1月5日	新年のご挨拶

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.59 No.2（Feb. 2018）

【特集：人文科学とコンピュータ】

■ 特集「人文科学とコンピュータ」の編集にあたって　関野　樹
■ 古典籍書誌データ構造に対応した Linked Data への半自動変換　吉賀夏子 他
■ Linked Data を用いた歴史研究者の史料管理と活用を支援するシステムの開発　中村　覚 他
■ 訓点資料の構造化記述方式と計算機を用いた基礎計量　堤　智昭 他
■ 訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築　田中　勝 他
■『国語研日本語ウェブコーパス』とその検索系『梵天』　浅原正幸 他
■ 日本語 Wikification におけるアンカー抽出器および評価用コーパスの構築　小谷亮太 他
■ 仮名字母の出現傾向を用いた藤原定家書写資料の調査　齊藤鉄也
■ 古典中国語 (漢文) の形態素解析とその応用　安岡孝一 他
■ 項書換え系を用いた漢字字体の包摂規準の形式化の試み　守岡知彦
■ 歴史的境界の空間データの生成　加藤常員
■ 字形画像をキーとした情報検索による古文書デジタルアーカイブ活用への効果　耒代誠仁 他
■ Development of a Visualization Method for Motion-characteristic Distribution of Japanese Folk Dances – A Case Study of the Bon Odori Dance　Takeshi Miura 他

【特集：ネットワークサービスと分散処理】

■ 特集「ネットワークサービスと分散処理」の編集にあたって　寺西裕一
■ Multi-access Edge Computing: A Survey　Hiroyuki Tanaka 他
■ Monitoring-Based Method for Securing Link State Routing against Byzantine Attacks in Wireless Networks　Babatunde Ojetunde 他
■ 仮想化を利用した設備機器の状態監視における計測時刻誤差の推定手法　金子　雄 他
■ Identifier-First Multi-datacenter Synchronization for In-Memory State Management †　Arif Herusetyo Wicaksono 他
■ データベース分割を目的としたデータ仮想化によるデータベースの仮想統合　齋藤和広 他
■ トランスポートネットワーク伝送パスの負荷分散並列設定方式　鈴木敏明 他
■ 非構造化 P2P/ オーバレイネットワークにおけるセキュリティ方式の提案及び PUCC プロトコルを用いた実装と評価　加藤剛志 他
■ 適応的なリクエストコンテンツ制御を導入した WSN 向けコンテンツ指向型データ収集手法 *　國安哲郎 他
■ Building Detour Paths to Avoid Local Congestion in MANETs　Kiyotaka Kaji 他
■ Improvement in IntErzone Routing Protocol of ZRP Based on Bloom Filter　Yuria Oigawa 他
■ RFB キャプチャ / リプレイに基づく VDI 対応監視制御システムの回帰テスト効率化方式　阿倍博信 他
■ 分類手法に応じた他者を怒らせる問題発言抽出パターンの特徴に関する分析　村山大騎 他
■ 持続可能な海産養殖のための海水温予測アルゴリズムの提案　大塚孝信 他
■ クラウドソーシングと 3 次元電波伝搬シミュレーションの併用による効率的な Wi-Fi 電波データベース構築　天野辰哉 他
■ SmartFinder : 大規模屋内施設における集約型自己組織化スマートデバイス位置推定方式とその評価　北之馬貴正 他
■ GLGR : Grid Landmark-based Geographic Routing for Ad-hoc Wireless Networks　Ushio Yamamoto
■ Scheduling Beacon Transmission to Improve Delay for Receiver-initiated-MAC Based Wireless Sensor Networks　Akihiro Fujimoto 他
■ 受信ノード主導型 MAC プロトコルのビーコン削減に基づいた長寿命センサネットワーク *　横谷晟人 他
■ An Evaluation of Darknet Traffic Taxonomy　Jun Liu 他
■ A Lost Data Recovery Scheme for Sensor Data Stream Multicasting　Ei Khaing Win 他
■ ソーシャルコーディングにおける有益提案の抽出　江見圭祐 他
■ Wi-Fi 受信電波強度の変化を利用した通路の歩行者数推定手法　倉　聖美 他
■ タッチ操作ログを用いた Web コンテンツ閲覧時における興味度合い推定の研究　加藤勇太 他
■ 情報散布に影響を与える複数の道路要素を考慮した RSU 配置手法　五味和良 他
■ OpenFlow を用いた医療情報ネットワークの設計と実装　小野　悟 他
■ 災害時における Publish/Subscribe 通信を用いたネットワークとアプリケーションの相互制御機構　西山　潤 他
■ 標的組織の内部情報を有する攻撃者を前提としたサンドボックス型セキュリティアプライアンスの評価 *　田辺瑠偉 他
■ Named Data Networking における要求フローの影響度を用いた DoS 攻撃対策手法　篠原涼希 他
■ 多数の Web サイトを対象とした攻撃の共起性に基づく悪性アクセス検知手法とその評価　齊藤聡美 他
■ 運動指導のための簡易評価技術の開発―携帯端末による体幹捻り運動評価―　吉田康行 他
■ 計画立案の行動に着目したカレンダ情報のダミーデータ生成手法 *　吉田尚史 他

【特集：インタラクションの理解および基盤・応用技術】

■ 特集「インタラクションの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって　吉野　孝
■ 写真ライフログにおける検索クエリを用いた想起補助　酒田信親 他
■ ロボットの情動的・社会的表情による人との親密さの強化　田中一晶 他
■ 連結した直線経路をステアリングする動作の分析とモデル化　山中祥太 他
■ Road 単位の造形に着目した熱溶解積層方式 3D プリンタでの質感表現　高橋治輝 他
■ 超小型タッチスクリーン端末上の選択性能を向上させるふきだし表示デザインの調査　石井　晃 他
■ 2 次元のタッチ操作を可能とする 3D オブジェクト　加藤邦拓 他
■ 周辺視への錯視図形提示によるコンテンツ視聴手法の実現　福地　翼 他
■ VISTouch : 複数の携帯端末間における動的な立体連携　安本匡佑 他
■ 人体を伝送路としたアクティブ音響センシングによるハンドジェスチャ及び肌上へのタッチの認識　横田智大 他
■ モバイル端末のアプリケーション利用時における内蔵照度センサを用いたハンドジェスチャ認識手法の提案　山下大輔 他
■ 紙媒体を用いた作業の特長を誘発する協調検索支援システム　今本　恕 他

【特集：Advances in Collaboration Technologies】

■ Editor's Message to Special Issue of Advances in Collaboration Technologies　Tomoo Inoue
■ Predicting Students' Academic Performance Using Multiple LinearRegression and Principal Component Analysis　Stephen J. H. Yang 他
■ StreamSpace : Pervasive Mixed Reality Telepresence for Remote Collaboration on Mobile Devices　Bektur Ryskeldiev 他
■ Negotiation and Reconciliation of Preferences in a Group Recommender System　Jesus Omar Alvarez Marquez 他

【特集：組込みシステム工学】

■ 特集「組込みシステム工学」の編集にあたって　早川栄一
■ 組込み制御システムに対するマルチコア向けモデルレベル自動並列化手法　鍾　兆前 他
■ マルチコアパワートレインアプリケーションにおけるコア配置決定のための最悪応答時間解析手法　小川真彩高 他
■ ARM TrustZone for ARMv8-M を利用した軽量メモリ保護 RTOS　河田智明 他
■ Multiprocessor Semi-Fixed-Priority Scheduling　Hiroyuki Chishiro
■ CPU とメモリを共有資源として用いる実時間制御システムのモデリング手法　田中輝明 他
■ AUTOSAR OS 仕様準拠 TOPPERS/ATK2 を対象とした機能安全規格 ISO 26262 対応における安全分析事例　毛利守男 他

【一般論文】

■ 情報理論の観点から最善の議席配分方式について†　一森 哲男
■ 動的解析ログを活用した静的解析補助手法*　中島将太 他
■ 分散協調とローカル対応を融合した緊急タスク割当　林　久志
■ PADetective : A Systematic Approach to Automate Detection of Promotional Attackers in Mobile App Store*　Bo Sun 他

*：推薦論文　Recommended Paper
†：テクニカルノート　Technical Note

● 論文誌トランザクション掲載論文リスト（Feb. 2018）

【論文誌 プログラミング Vol.11 No.1】

■ Improvement of a Library for Model Checking under Weakly Ordered Memory Model with SPIN　Kosuke Matsumoto 他
■ RL78 マイコン向け C コンパイラによる多倍長整数演算の最適化　千葉雄司 他
■ Call-trail Dependent Inline Caching for a Scoping Mechanism of Class Extensions　Wei Zhang 他
■ Implementation of C Library for Constructing Packrat Parser with Statically Allocated Memory　Yuta Sugimoto 他
■ 複数の局所クロックを持つ時間プッシュダウン・オートマトン　上里友弥

【論文誌 教育とコンピュータ Vol.4 No.1】

■ 情報教育はどこまで広がっているのか―わからないことを調べる苦難と今後のために―　高橋尚子
■ 論理的文章作成力とプログラミング力との関係分析　大場みち子 他
■ 意味の理解に着目させる漢字学習ソフト「熟語マニア」の開発と評価　間辺美樹 他
■ 学習者の積極性を高める授業デザインの提案 ―自律学習と質的保証の両立を目指して―　若林義啓 他
■ 高校生による教育用 SNS を活用した協調的問題解決の特徴　菅井道子 他
■ Web ブラウザを用いたプログラミング学習支援環境 Bit Arrow の設計と評価　長島和平 他
■ 発話に含まれる特性語の出現頻度に基づいた協調学習時の貢献度推定手法の提案と評価　高木正則 他
■ Pedagogical Agent の導管メタファ・ジェスチャが学習者の理解に与える効果　長谷川大 他

【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.11】

■ From Process Variations to Reliability : A Survey of Timing of Digital Circuits in the Nanometer Era　Bing Li 他
■ Scan-based Side-channel Attack against HMAC-SHA-256 Circuits Based on Isolating Bit-transition Groups Using Scan Signatures　Daisuke Oku 他

【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.6 No.1】

■ フルドーム短編 3DCG アニメーション“THE PLANET CUBE”　牧奈歩美
■ MR 組立作業支援システムにおけるアナモルフォーズとプロジェクションマッピングの利用　水流添弘人 他
■ キャラクターの位置情報に基づいた対戦型格闘ゲームの初心者向け観戦支援システム　梶並知記 他

各　賞　表　彰（概要）

詳細は Web サイト（https://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html）をご覧ください

2017 年デジタルプラクティス論文賞の表彰

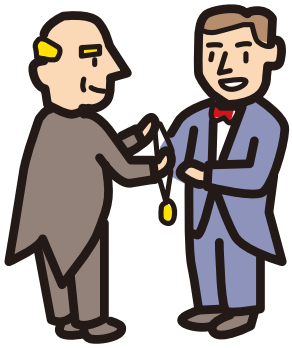
デジタルプラクティスの目的は，ICT 実務の現場での実践やそこから生み出される知見を広く社会全体で公開共有し再利用することです．この目的に最もかなう論文を 1 年に 1 編選び「デジタルプラクティス論文賞」を贈呈しております．

本年の受賞者は，2017 年に発行されたデジタルプラクティス Vol.8, No.1 ～ No.4 の全 37 編（招待，一般投稿，推薦）の中から，表彰規程およびデジタルプラクティス論文賞選定手続きに基づき，吉野松樹編集委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い，理事会承認（2017 年 12 月 21 日付，定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て，決定いたしました．

受賞者には，本会表彰規程により，2 月 2 日に開催されたソフトウエアジャパン 2018 において，表彰状および賞金が授与されました．

○ ユニバーサルセンサネットワークと清掃車を活用した藤沢市のスマート化

中澤　仁君，陳　　寅君，米澤拓郎君，大越　匡君，徳田英幸君



IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています．本会会員が主な読者なので，ターゲットを絞った広告に最適です．

●配 信 数：約 32,000 通（原則毎週月曜日配信）
●読 者 層：本会会員および非会員
●形　　式：テキストのみ．等幅半角 70 字× 5 行．URL を入れてください．
●掲載位置：ヘッダ（目次の上）
　　フッタ（本文の最下行）
●掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※ 3 社限定
　　フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）
　　※それぞれ行数超過については別途相談
●申 込 先：［広告代理店］
　　アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
　　〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27　Tel(03)3367-0571　Fax(03)3368-1519
　　または，情報処理学会 会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel(03)3518-8371
●申込締切：毎週水曜日締切，翌週月曜日配信となります．
●見　　本：

― ［広告］ ―

■■■　　○○セミナー　　■■■

開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00 ～ 17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります．
詳細はこちらをご覧ください：http://www.....com/

― ［広告］ ―

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書に記載する「宛名」，Web 掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]）を添えて下記の申込先へ，E-mail，Fax または郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

申込期限：毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　税抜 20,000 円（税込 21,600 円）
賛助会員（企業）　税抜 30,000 円（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業　税抜 50,000 円（税込 54,000 円）
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます．

申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし 3 日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

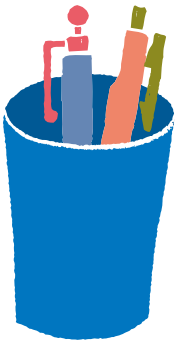
■トヨタ自動車（株）

募集人員　正社員　数名
専門分野　情報工学または関連分野
応募資格　(1) 2019 年 3 月卒業見込みの博士後期課程在学者，または，博士／修士の学位保有者，(2) かつ，下記について 1 つ以上の実務（研究）経験がある方
- コンピュータビジョン（3 次元計測，センサ信号処理含む），SLAM，数理統計，計算物理，データ・サイエンス，機械学習，知識モデリング，パス・プランニング等の知能化技術
- 新しいアイディアを大規模なソフトウェアに組み込み，評価・開発が進められるソフトウェア開発技術（C/C++ での開発能力は必須）

仕事内容　自動運転技術の研究・開発（知能化技術）
応募締切　2018 年 4 月 30 日
そ の 他【勤務地】東京都，静岡県　※愛知県のほか，国内・海外の事業所・関連施設への転勤の可能性あり
応募は当社 Web ページ（http://www.toyota-careers.com/）から受け付けます
応募内容の詳細は，当社 Web ページをご覧ください

■豊田工業大学大学院工学研究科

募集人員　博士後期課程主担当教授　1 名
専門分野　次世代計測・情報処理分野．たとえば，次世代の情報処理や通信およびセンシングを可能とする先端的な素子とシステム，超高感度計測やバイオ・生体情報の検出などの次世代計測技術，サイバーフィジカルシステムの学理および活用技術，など
着任時期　2019 年 4 月 1 日あるいは，できるだけ早期
応募締切　2018 年 5 月 15 日（必着）
照 会 先　選考委員長（副学長）保立和夫
E-mail: hotate-koubo@toyota-ti.ac.jp　Tel(052)809-1821
そ の 他　応募資格，応募方法，主担当教授制度の詳細については，次の Web ページを参照してください
http://www.toyota-ti.ac.jp/recruit/index.html



有料会告

FIT2018 第 17 回情報科学技術フォーラム
選奨論文・一般論文 講演募集予告

会　期：2018年9月19日（水）～21日（金）
会　場：福岡工業大学（福岡市東区和白東３-３０-１）

FIT2018 Web ページ　http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/

受付期間(予定)：2018 年４月 10 日（火）～６月７日（木）

◆論文ページ数：2～8ページ程度　　◆講 演 時 間：20分
◆3ページ目以降は追加ページ代（4,000円／ページ）が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ（ISS）並びにヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）と情報処理学会（IPSJ）とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT：Forum on Information Technology)」を開催しており、2018年9月には第17回目を福岡工業大学で開催します。**本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。**

●申込主要日程（予定）

登録申込／投稿受付開始：2018年4月10日（火）　→　登録申込締切：2018年6月7日（木）
最終掲載原稿：2018年6月29日（金）
※ FIT2017 より、査読付き論文は廃止とし、選奨論文制度を取り入れました。
※ 登録申込と原稿投稿は上記のFIT2018Webページよりお願い致します。詳細は決定次第 Webページでお知らせ致します。

●表彰

FITには、以下の表彰制度がありますので是非ともチャレンジして下さい。
いずれの賞も、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが受賞条件となりますのでこの機会に是非御入会下さい。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 3 件選定。賞金は船井情報科学振興財団より 20 万円贈呈。
FIT 論文賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 7 件程度選定。賞金は FIT 運営委員会より 5 万円贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	2018 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者（選奨論文および一般論文）の中から、発表件数の 1.5%を上限として選定。賞金は FIT 運営委員会より 3 万円贈呈。本賞受賞は本人に対し一回のみ。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定（該当なしもあり）。FIT 終了後に賞状を贈呈。

●選奨論文（4～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよく御確認のうえ御自身の論文内容と一致した研究会を、申込者御自身の責任において適切に選択して下さい。
船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する場合は、Web からの講演申込みの際に必ず論文形式で『選奨論文』を選択して下さい。但し、賞を前提とした論文形式となりますので、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが投稿条件となります。非会員の方は御入会手続きをお済ませの上御投稿下さい。選奨論文は FIT 初日の選奨セッションに組み込まれ、各セッションにて選奨委員 2 名による 1 次審査を行います。1 次審査の結果は当日の夕方までに大会会場に掲示されます。2 次審査は FIT 終了後実施され、上位 3 件が船井ベストペーパー賞、次点 7 件程度が FIT 論文賞の受賞となります。
※4 ページ以上の投稿が必須ですが、3 ページ目からは追加ページ代（4,000 円／ページ）が発生します。例えば 6 ページ投稿の場合、4 ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000 円×4＝16,000 円」の追加費用が必要となります。

●一般論文（2～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよく御確認のうえ御自身の論文内容と一致した研究会を、申込者御自身の責任において適切に選択して下さい。
※3 ページ以上の投稿される場合は、3 ページ目からは追加ページ代（4,000 円／ページ）が発生します。例えば 4 ページ投稿の場合、2 ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000 円×2＝8,000 円」の追加費用が必要となります。

●論文誌推薦制度

選奨論文の中から船井ベストペーパー賞の審査を通して優秀な論文と判断されたものを、FIT プログラム委員会が電子情報通信学会または情報処理学会（FIT 講演申込フォームの講演応募分野（研究会）で選択した研究会が属する学会）の論文誌へ推薦します。掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定しますので、論文誌への投稿の際には、投稿先論文誌編集委員会の評価基準を満足しうる、完成度の高い論文に仕上げて頂くことをお薦めします。なお、推薦を辞退することも可能です。

●問合せ先（FIT2018幹事学会）

105-0011 港区芝公園 3-5-8　機械振興会館内
電子情報通信学会 大会・研究会部 TEL.〔03〕3433-6691　FAX.〔03〕3433-6659　E-mail:ieicefit@ieice.org

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページまたは1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	50,000円（税込54,000円）
			1/2ページ	30,000円（税込32,400円）
			1/4ページ	20,000円（税込21,600円）
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公私立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	国公私立教育機関，国公立研究機関	20,000円（税込21,600円）
			賛助会員（企業）	30,000円（税込32,400円）
			賛助会員以外の企業	50,000円（税込54,000円）
	＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円（税込4,320円）で同一内容を本会Webページに掲載できます．			

■申込方法　任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

■原稿の書き方

●行事次第書：　A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします．
（1ページ）　天地260mm × 左右175mm
（1/2ページ）天地130mm × 左右175mm
（1/4ページ）天地　65mm × 左右175mm
＊ A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．

●人材募集：　次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください．
［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］
＊なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

■申込期限　毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します．

■掲載料金　掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください．

■掲載申込先　一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel (03) 3518-8371　Fax (03) 3518-8375

IPSJ MAGAZINE Vol.59 No.3 (Mar. 2018)

CONTENTS

Preface

220 How Can We Promote R&D Activities for the Future of Japan?
Kazuhiko NISHI (The Univ. of Tokyo)

Special Features

LSI Routing Problem - Routing Problem Solver Contest at DA Symposium -

222 0. Foreword
Kotaro SHIMAMURA (Hitachi, Ltd.)

224 1. LSI Routing Problem and Solver Contest
Yasuhiro TAKASHIMA (The Univ. of Kitakyushu) and Kotaro SHIMAMURA (Hitachi, Ltd.)

228 2. An Efficient Solver for LSI Routing based on Machine Learning and FPGA
Kazushi KAWAMURA, Kento HASEGAWA, Masashi TAWADA and Nozomu TOGAWA (Waseda Univ.)

232 3. Problem Solving with SAT Technologies
Yusuke MATSUNAGA (Kyushu Univ.) and Naoyuki TAMURA (Kobe Univ.)

239 4. Integer Programming Based Method
Tomomi MATSUI (Tokyo Institute of Technology) and Jun TAKITA (Creator's NEXT)

243 5. Method by using ZDDs
Shin-ichi MINATO (Hokkaido Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

248 Romantic Topology Analyser
Satoru KAWAI (The Open Univ. of Japan)

"Peta-gogy" for Future

263 Embedded Technology Robot Software Design Contest, Kansai District Executive Committee Chairperson for 10 years
Keiji EMI (The Kyoto College of Graduate Studies for Informatics)

264 Current Situation of Teachers Assigned for the Subject of 'Information' at the Chiba Prefectural Public High School
Kazuo OSHIMA (Ichikawasubaru High School)

268 Novice Programming Courses and PBL
Natsuko UCHIDA (Ferris Univ.)

250 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine
254 IPSJ Activity Report
272 IPSJ Activity Report
274 Biblio Talk
276 Conference Report
278 Conference Report
280 Conference Report
282 Hot Times
283 Hot Times
284 Hot Times
285 Hot Times
286 Hot Times
287 Hot Times

読後のご意見をお送りください

本誌では，現在約 160 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが，より多くの読者の皆さんからのご意見，ご提案をおうかがいし，誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので，毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ（https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）をお使いいただき，奮って事務局までお寄せください．

一般社団法人 情報処理学会　会誌編集部門
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8371

2018 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが，会員の方々の評価や希望をうかがい，今後の改善に役立てるために，モニタ制度を設けております．関心のある方はぜひふるってご応募ください．

応募の資格　本会員で，モニタの役割を積極的に果たしていただける方．

モニタの役割　「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ（https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html）から，毎月アンケートに回答する．
◇記事に対する評価　◇記事に対する感想　◇意見　◇記事テーマの提案　◇そのほか全般的な意見・提案など
注）記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません．自分の立場や問題意識，得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します．

期　間　原則として 1 年間（2018 年 4 月～ 2019 年 3 月）．**＊最長 3 年までとします．**
対 象 号　会誌「情報処理」59 巻 5 号～ 60 巻 4 号，および年に 4 回 Web ページ（https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/（PDF 版））（https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html（HTML 版））にて公開される「デジタルプラクティス」（電子版のみ）．
謝　礼　貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します．
募集人員　特に定めませんが，応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります．
応募締切　**2018 年 2 月 27 日（火）必着**
＊申込書を Fax するか，または E-mail でお申し込みください．
＊ Web ページ（https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2018monitor.html）でも受け付けています．
そ の 他　ジュニア会員で，会誌（冊子体）の送付を希望される方には，モニタ期間中会誌を送付いたします．
（先着 50 名，アンケート（12 回）に必ず回答いただくことを条件とします）
希望する場合は，申込書の要望欄に＜会誌送付希望＞とお書きください．
申込／照会先　情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）

2018 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）　E-mail: editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375

氏　名

会員番号　（　　）

住　所　〒

所　属
E-mail:
Tel（　　）　　-
Fax（　　）　　-
年　齢　（　　歳）

業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他

要望，コメントなど：

一般社団法人
情報処理学会
Information Processing Society of Japan

「情報処理」カタログ同封サービスのご案内

カタログ同封サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常の DM と異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
また，カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ**、なおかつ情報処理を専門とする読者に**ターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

❶封入希望月の**前月 15 日**までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
- ◆会社名，担当者，連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail）　◆封入希望号
- ◆サイズ　◆カタログの簡単な内容説明
- ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。

❷封入希望月の遅くとも**前月末日**までに下記事項について手配をお願いします。
- ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax 可）。
- ◆納品業者をお知らせください。

❸**納品日は封入希望月の 5 日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。**
日付指定にて必要枚数（20,000 枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。

❹カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。

❺後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり約17.5 円！

基本価格　350,000 円
（税込 378,000 円）

対象：全会員　20,000 通 配布
（正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員）

大学や共催事業はさらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員（基本価格の 40% Off ！）	210,000 円（税込 226,800 円）
情報処理学会主催・共催事業＊（基本価格の 80% Off ！）	70,000 円（税込 75,600 円）

＊情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 変形判または A4 判二つ折り（その他についてはご相談ください）
用紙：色上質厚口（四六判 80kg）またはコート紙（四六判 90kg）相当

問合せ先

［広告代理店］アドコム・メディア（株）　E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571　Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371　Fax.(03)3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか！

www.ipsj.or.jp

新規会員募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

○出版活動（学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行）、電子図書館への掲載
○各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウエアジャパン他）
○教育活動（大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者（CITP）認証、教員免許更新講習）
○国際交流（IFIP への加盟、海外学協会との提携）
○標準化活動
○その他の活動（各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他）

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員
名誉会員：当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
正 会 員：当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員
学生会員：学校に在学中の個人
ジュニア会員：小学生～大学学部 3 年生以下の学生（会費無料）

賛助会員
当学会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

2017 年度

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます（ジュニア会員は電子版のみ）。
特集：人流シミュレーション／「ロボットは東大に入れるか」という企て／ソフトウェア工学の最前線／農業 ICT／情報教育とワークショップ／ IoT 時代のセーフティとセキュリティ／ ACM チューリング賞 50 周年記念大会／プログラミング・エクスペリエンスの新潮流／ディジタルゲリマンダとは何か／ファイルシステムとストレージ／私たちの未来／脳情報科学が拓く AI と ICT／スマホプログラミング／進化し続けるコンピュータ将棋　他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」を年 4 回発行しています（電子版のみ）。
特集：社会に浸透する画像認識（4 月刊行）／ IoT システムと組込み技術（7 月刊行）／デザイン・アートと ICT の融合によるサービスのイノベーション（10 月刊行）／オープンデータを活用した新しい社会（1 月刊行）

3 電子図書館で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4「連続セミナー」に会員価格（7,000 円お得）で参加できます。
時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2017 年度は「イノベーション最前線：2020 年を超えて生き抜くための技術を探る」をテーマに、6 回開催しました。

5 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000 円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

ホットトピックス
3D プリンタ、Bit Coin、Fintech、GPS、IoT、ITS、アクセシビリティ、暗号、インターネット、ウェアラブル、組込みシステム、クラウド、ゲーム、自動運転、障害者支援、シンギュラリティ、人工知能、スマート社会、セキュリティ、ソーシャルネットワーク、ダイバーシティ、データマイニング、ドローン、バイオ、ビッグデータ、ユビキタス、量子コンピュータ、ロボット、ディープラーニング

6 出版図書が会員割引で購入できます。
IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370　Fax.(03)3518-8375　mem@ipsj.or.jp

一般社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

会誌「情報処理」　デジタルプラクティス 無料

App Store アプリで購読できます！

会誌「情報処理」　デジタルプラクティス

会誌「情報処理」,「デジタルプラクティス」アプリは
iPad，iPhone，iPod Touch といった iOS 端末から
無料でダウンロードできます

会誌

- 月単位の購入が可能です.
- 購入前に立ち読みができますので，ぜひいちどおためしください.
- 年間購読で 12,800 円（1 冊あたり約 1,000 円）でお得です.
  1 カ月：1,700 円 ／ 6 カ月：9,800 円 ／ 1 年：12,800 円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず，どなたでも無料でお読みいただけます.
- DP アプリを一度ダウンロードすれば，最新号が自動で送られてきます.

年間購読でお得 !!

購読無料 !!

まわりの方にもご紹介ください！

アプリのダウンロードはこちら（無料）

会誌「情報処理」
https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8

デジタルプラクティス
https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejitarupurakutisu/id923233022?mt=8

お問合せは　一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門　E-mail : editj@ipsj.or.jp　Tel : (03) 3518-8371

◎ITスキル標準レベル4以上を目指す方へ

CITP 認定情報技術者
Certified IT Professional

CITP（認定情報技術者）資格を取ろう

「認定情報技術者」および「CITP」は情報処理学会の登録商標です。

CITP取得5つのメリット

1 情報技術のプロとしての能力を客観的に証明できます
2 キャリアアップやスキルアップの目標が明確になります
3 国際標準に準拠しているため国際的な場でアピールできます
4 コミュニティに参加し、有資格者同士の交流ができます
5 コミュニティ活動を通じて、社会への貢献ができます

CITPとは

- 情報処理学会が認定する上級情報技術者の資格です
- ITスキル標準のレベル4以上を広くカバーする国内で唯一の高度資格です
- 情報技術者資格の国際標準ISO/IEC 24773に準拠しています
- 約7,000名（2017年4月現在）の技術者がCITPに登録されています

	ITスキル標準	情報処理技術者試験
		情報処理技術者試験での対応はレベル4まで
レベル7	世界で通用するプレイヤー	
レベル6	国内のハイエンドプレイヤー	
レベル5	企業内のハイエンドプレイヤー	
レベル4	高度な知識・技能	高度試験（注）
レベル3	応用的知識・技能	応用情報
レベル2	基本的知識・技能	基本情報
レベル1	最低限求められる基礎知識	ITパスポート

CITPが対象としている範囲

CITPには「個人認証」と「企業認定」があります。

［企業認定とは］
社内資格制度が所定の基準を満たしたことを情報処理学会が認定するものです。

（注）情報処理安全確保支援士試験を含む

一般社団法人情報処理学会は1960年の設立以来、情報処理分野における日本最大の学会として情報処理に関する学術・技術の進歩発展と普及啓蒙を図ることを目的に活動している学術団体です。

詳細は情報処理学会のWebサイトをご覧ください。
https://www.ipsj.or.jp/citp.html

お問い合わせは
一般社団法人情報処理学会　CITP担当
Tel.03-3518-8372 E-mail: ipsj.citp@ipsj.or.jp

◆◆「情報処理学会」入会のご案内◆◆

■ 入会手順

いただいた個人情報は、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

（ ）内は作業者、＜＞内は手段を示します。

STEP 01　入会申込書送信（入会希望者）

↓

STEP 02　受付　＜自動返信メール＞
{仮会員番号の通知}

↓

STEP 03　請求書を発行（事務局）
＜郵送またはメール＞

↓

STEP 04　入会会費の納入※
（入会希望者）
{指定期日まで(ひと月以内)}

↓

STEP 05　入会承認（理事会）
{入会会費の納入者のみ}

↓

STEP 06　入会承認通知・会員証（事務局）
{会員番号通知}＜メール＆郵送＞

↓

STEP 07　電子図書館のユーザ登録案内
＜メール＞（事務局）

↓

STEP 08　会誌「情報処理」配布
＜郵送＞（事務局）

※指定期日まで(またはひと月以内)に入会会費が未納の場合、入会はキャンセル扱いとなります。
期日までに納入できない方は、あらかじめ会員サービス部門までご連絡ください。

■ 2018年度会費等の金額

	入会金*1（消費税対象外）	年度会費*2（消費税対象外）	論文誌購読費*3（消費税込*5）	研究会登録費*4（消費税込*5）
正会員	2,000円	10,800円	5,400円	有料
学生会員	---	4,800円	5,400円	有料(1つ無料)
賛助会員	---	1口　50,000円	5,400円	有料(口数分無料)

【2018年度の期間：2018年4月1日～2019年3月31日】
*1: 正会員の入会金免除の方法は、入会申込書に記載しています。
*2: 表示の会費は2018年度額です。入会月によらず、年度額を請求します。会費の翌年度への繰越はありません。
*3: 論文誌ジャーナル(月刊)。電子図書館で提供します。購読開始月によらず、年度額を請求します。購読費の翌年度への繰越はありません。
*4: 入会と同時に申込みできますが、毎年度変わりますので、研究会登録申込書を参照してください。登録開始月によらず、年度額を請求します。
*5: 消費税込の金額については、2018年度は8%となります。

■ 入会申込先

一般社団法人 情報処理学会　会員サービス部門
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
Tel(03)3518-8370　Fax(03)3518-8375　mem@ipsj.or.jp
https://www.ipsj.or.jp/

振込口座　名義人　一般社団法人 情報処理学会
郵便振替　00150-4-83484
みずほ銀行　虎ノ門支店（普）1013945
三菱東京UFJ銀行 本店（普）7636858

ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、
学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。
今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げる次第です。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため
将来を担う人材の育成に資するため

などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子的コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含みます。
お預かりいたしましたご寄付のうち使途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、
ご指定のないものは、その使途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。
今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、
何卒よろしくお願い申し上げます。

＊ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

IPSJ　寄付

会員他寄付

現金
資産
役務

IPSJ
学会活動に活用
↑
役務提供

活用先

教育・育成
情報入試　子ども教室　パソコン教室
社会貢献
表彰
国際活動
規格標準化
情報資産保存
学会諸事業
その他

詳しくはこちら

https://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html

お問合せ

一般社団法人　情報処理学会　管理部門
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F
TEL 03-3518-8374　FAX 03-3518-8375
soumu@ipsj.or.jp

一般社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

閲覧無料

情報処理学会
デジタルプラクティス

情報処理学会ではITエンジニアのための論文誌
「デジタルプラクティス」を発刊しております。
会員・非会員を問わず、無料でお読みいただくことができます
すので、お気軽にアクセスしてみてください。

- 特集「オープンデータを活用した新しい社会」
- 特集「デザイン・アートとICTの融合によるサービスのイノベーション」
- 特集「IoTシステムと組込み技術」
- 特集「社会に浸透する画像認識」
- 特集「ICTとダイバーシティ社会」
- 特集「人工知能の実践的活用」

etc...

デジタルプラクティスの読み方

Webサイト 31号から公開
https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/

App Store DPアプリ DP
https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejita-rupurakutisu/id923233022?mt=8

電子図書館「情報学広場」
https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=repository_opensearch&index_id=6394

投稿のご案内

「デジタルプラクティス」への投稿を考えていらっしゃる皆様へ
―プラクティス論文のプラクティスについて―

このたびはデジタルプラクティスへの投稿に興味を持っていただき大変ありがとうございます。世の中にはまだあまり馴染みのないプラクティス論文のプラクティスについて、著者の皆様に留意していただきたいことを以下に簡単にまとめてみましたので、どうぞ参考になさってください。

プラクティスとは、著者が現場でやってみて初めて分かった経験と、その経験を一般化した社会的に有用な知見を述べることが期待されています。社会的に有用な知見というのは、これから同様の実験や仕事をやろうと思っている技術者にとって有用な知見というだけでなく、広く他分野・他領域の技術者が現場で仕事をする際に有用となるような知見として一般化するという意味です。論文審査基準はこの「社会的有用性」のみです。

デジタルプラクティスはプラクティス（実践）に関する論文誌ですから、論文中にはプラクティスに関する記述が強く要求されます。その代わり、技術的な新規性は従来の学術論文ほど要求されず、新規性が不足していることで不採録とはなりません。しかしプラクティスといっても実データを扱うだけでは、あるいは実世界で実験しただけではプラクティス論文にはなりません。

プラクティス論文に求められるプラクティスとは例えば次のようなものです：

- この手法をこんな風に想定外の使い方をしてみたら効果的だった
- この手法とこの手法をこんな風に上手く組み合わせることができた
- 現在最も安価で手間が少ないやり方はこれで、こうやって見つけた
- 学術論文では結果だけが主張されますが、その主張する方法に至る前にこういう試行錯誤があった
- 上手くいくと思われたこのやり方にはこんな落とし穴があって駄目だった（やってみて初めて分かった）
- このようなテスト段階を踏まえて最終的な仕組みや方法に落ち着いた
- 技術的には難しくないが良いデータを取るために現場で一番注意したのはこの点であった
- 予備実験で出た問題点は何で、それを本実験ではこう解決した
- 実験室内（テストデータ）では上手く動作してたけど、現場に持ち出したら（実データに当たると）上手く動作しなかった部分はここだった。それをこう解決した

というようなものです（これだけに限りませんが）。

従来の論文では「～の分析」や「～の検討」などの章がよく設けられますが、デジタルプラクティスでは極論すると分析法、分析結果、検討結果にはあまり興味はなく、分析作業におけるプラクティスや検討作業におけるプラクティスに興味があります。またタイトルがたとえば「～の方法」や「～の提案」となっていても、その気持ちは「～の方法に関するプラクティス」や「～の提案に関するプラクティス」となっていなければなりません。したがって文中には、明示的に「分析におけるプラクティスには～などがあった」「そのプラクティスから～という知見が得られた」などという記述があることが期待されます。

ご意見をお寄せください！

【3 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　一般社団法人 情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html　Fax(03)3518-8375　E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）
※ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

［コード］

〔1〕ご氏名

〔2〕ご所属　　Tel.（　　）　　-

〔3〕E-mail:

〔4〕業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関（d）教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
（e）学生（f）学生（ジュニア会員）（g）その他…… 4-［　］

〔5〕職種：（a）研究職（b）開発・設計（c）システムエンジニア（d）営業（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職（g）教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
（h）学生（i）学生（ジュニア会員）（j）その他 …… 5-［　］

〔6〕年齢：（a）10 代（b）20 代（c）30 代（d）40 代（e）50 代（f）60 代以上 …… 6-［　］

〔7〕性別：（a）男性（b）女性 …… 7-［　］

〔8-1〕あなたはモニタですか？：(a）はい（b）いいえ …… 8-1-［　］

〔8-2〕あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望（c）掲載を希望しない …… 8-2-［　］

〔9〕どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
（a）冊子版（b）情報学広場（電子図書館）（c）App Store（d）fujisan（e）その他 …… 9-［　］

〔10〕今月号（2018 年 3 月号）の記事は良かったですか．下記の記事すべてについて評価をご回答ください．
［a …大変良い　b …良い　c…普通，どちらとも言えない　d …悪い　e…読んでいない］

巻頭コラム：日本の未来のためにいかにして研究開発を活性化するか…… 10-1-［　］
小特集：LSI の配線問題
1. LSI の配線問題と解法コンテスト …… 10-2-［　］
2. 機械学習と FPGA を用いた配線問題解法への取り組み …… 10-3-［　］
3. SAT を用いた解法 …… 10-4-［　］
4. 整数計画法を用いた解法 …… 10-5-［　］
5. ZDD を用いた解法 …… 10-6-［　］
IT 好き放題：トポロジアナライザーの夢…… 10-7-［　］
会誌編集委員会女子部…… 10-8-［　］
学会活動報告：IFIP ―情報処理国際連合―近況報告 …… 10-9-［　］
ぺた語義：ET ロボコン関西地区実行委員長 10 年…… 10-10-［　］
ぺた語義：千葉県公立高等学校情報科教員の現状…… 10-11-［　］
ぺた語義：プログラミング入門をプロジェクトでやってみた…… 10-12-［　］
学会活動報告：新会員管理システム構築に向けた取り組み…… 10-13-［　］
ビブリオ・トーク：翻訳できない世界のことば…… 10-14-［　］
会議レポート：MWS2017 開催報告 …… 10-15-［　］
会議レポート：プライバシーワークショップ（PWS2017）実施報告 …… 10-16-［　］
会議レポート：第 8 回 教育 IT ソリューション EXPO 参加報告 …… 10-17-［　］
連載漫画：IT 日和…… 10-18-［　］

〔11〕本号で最も良かった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．
〔11-1〕良かった記事 …… 11-1-［　］
〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 11-2-［　］
〔11-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 11-3-［　］
a) 技術・研究動向がよく分かった　b）知的興味をかきたてられた　c) 新たな知識を得ることができた　d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕本号で最も良くなかった記事は何ですか？　上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください．上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください．

〔12-1〕良くなかった記事 …… 12-1- [　　]

〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a）専門家　b）非専門家 …… 12-2- [　　]

〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）…… 12-3- [　　]

a) 記事の内容に誤りがあった　b) ありきたりの内容だった　c) 記事が難しすぎた　d) 何を言いたいのか分からなかった　e）宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味が持てなかった　g）その他（下記に具体的にご記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください．

〔13-1〕LSI の配線問題：a）専門家　b）非専門家 …… 13-1- [　　]

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください．

〔15〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください．
（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部）　※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　　Fax(03)3518-8375　https://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可，著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図　書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／ JIP ／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，アクレディテーション対応
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナ, 短期セミナ, IT フォーラム, ソフトウエアジャパン, その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザリーボード
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　https://www.itscj.ipsj.or.jp/

今回の小特集「LSI の配線問題」の企画は，2017 年の DA シンポジウムの夜の分科会から始まりました．DA シンポジウムは参加者の多くが主催者の準備した宿に宿泊し，昼間のセッション以外に夕食会とその後の夜の分科会で自由に議論を行うのが恒例となっています．その日の夜の分科会で，昼間に行われた配線問題の解法コンテストの参加者が集まってコンテストを振り返った議論を行っていたのですが，ある参加チームの指導教官である T 先生が突然「情報処理学会会誌の小特集に提案したらどうか」とおっしゃいました．会誌に採用されるのはハードルが高いだろうと予想していたのですが，編集委員会メンバの T 氏のお力添えもあり，無事に採用にこぎつけることができました．

今回ご紹介した技術はいずれも汎用性の高いもので，配線問題以外にも幅広い分野で活用されています．本小特集を通じて配線問題をご理解いただくことはもちろんですが，ご紹介した技術が読者の皆様の研究に活用され少しでもお役に立てれば幸いです．

（島村光太郎／本小特集ゲストエディタ）

次号（4 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「小特集」私のターニングポイント―私はこれでキャリアを決めました―

偶然が人生を決めるのかもしれません／ ICT 教育にかかわるまでの 4 つの転機／あまりに大きなテーマに取り組みすぎて研究を失敗した話／私のキャリアを作ってくれたつながり／最初の転職／ OHP 運搬でデータ工学の道へ／共同研究プロジェクト，それは私のキャリアを決定づけた／情報通信行政に携わって／私の出版人生を支える Gauche との出会い／社会的要請に対する豊かな感受性が一流の技術者を育てる／出会いが生み出す感情的な興味に従う方向作り／広角／猫が好きでよかった／ 20 歳で掲げた夢／ 21 世紀の福沢諭吉／教育ベンチャーを起業したきっかけ―真のインフラのために自分ができることは―

「小特集」情報社会―今そこにある課題―

東京オリンピック・パラリンピックという名のプロジェクト／シーサートの未来～終わりなきサイバーセキュリティと付き合うために～／経営者は情報システムの監査をもっと活用しよう―システム監査を活用できる経営者がこれからの企業の成長を支える―／これからの標準化 / 規格化／ブロックチェーンエコノミーの時代は来るか―仮想通貨の過去と未来―／学校での情報教育／女性セキュリティ技術者を増やす―情報セキュリティ業界における女性技術者の人材育成―／ダークマーケットとの戦い～対策は新たな局面へ～／ソーシャルメディアとニュースのこれから／これからの放送のリアリティに求められるもの―現実のリアリティと人工のリアリティ―／自動走行時代，自動車は鉄道になってしまう？／医療情報と国際化社会：妥協のない医工学の未来／テレワークのジレンマ―テレワークを推進する前に考えるべきこと―／公共データの活用に向けて／マイナンバーカードの今後／民事司法の ICT 化によって実現される正義，実現されない？正義／ IoT 時代の知財戦略／サイバー犯罪／ビッグデータの加工・取扱―匿名加工情報の役割と活かし方―

教育コーナー：ぺた語義
連　載：IT 日和／ビブリオ・トーク
コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題
会議レポート：SPLC2017 参加報告～ソフトウェアプロダクトラインに関するトップカンファレンス／ EMNLP2017 参加報告

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので，本誌に掲載された著作物を複写したい方は，同協会より許諾を受けて複写してください．ただし，(社) 日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）．

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒 107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
E-mail : info@jaacc.jp　Tel (03)3475-5618　Fax (03)3475-5619

なお，著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は，学術著作権協会では扱っていませんので，本会へご連絡ください．

また，アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は，次の団体に連絡してください．
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923　USA
Phone : 1-978-750-8400　Fax : 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052　Japan
E-mail : info@jaacc.jp
Phone : 81-3-3475-5618　Fax : 81-3-3475-5619

<Users in USA>
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923　USA
Phone : 1-978-750-8400　Fax : 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	1 色
表 2	330,000 円（税込 356,400 円）	—
表 3	275,000 円（税込 297,000 円）	—
表 4	385,000 円（税込 415,800 円）	—
表 2 対向	300,000 円（税込 324,000 円）	—
表 3 対向	265,000 円（税込 286,200 円）	155,000 円（税込 167,400 円）
前付 1 頁	250,000 円（税込 270,000 円）	135,000 円（税込 145,800 円）
前付 1/2 頁	—	80,000 円（税込 86,400 円）
前付最終	—	148,000 円（税込 159,840 円）
目次前	—	148,000 円（税込 159,840 円）
差込（A4 変形判 70.5kg 未満　1 枚）	275,000 円（税込 297,000 円）	
差込（A4 変形判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）	
同封（A4 変形判　1 枚）	350,000 円（税込 378,000 円）	

■「情報処理」

発　　行　一般社団法人 情報処理学会
発行部数　20,000 部
体　　裁　A4 変形判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　完全版下データ
原稿寸法　1 頁　天地 250mm ×左右 180mm
　　1/2 頁　天地 120mm ×左右 180mm
雑誌寸法　天地 280mm ×左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073　東京都新宿区百人町 2-21-27
アドコム・メディア（株）（Tel/Fax/E-mail は下に記載）

＊原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます.
＊同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください.

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，ご希望の会社名にチェック ☑ を入れ，送付希望先をご記入の上，Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください.

■「情報処理」 59 巻 3 号　掲載広告（五十音順）

□インタフェース …… 表 2 対向
□国立情報学研究所…… 表 4
□富士通…… 表 2
□ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お 名 前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤 務 先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿

所 在 地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア（株）
Tel.03-3367-0571　Fax.03-3368-1519　E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介いたします．
Web サイト（https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html）「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので，ぜひご覧ください．

照会先　情報処理学会　会員サービス部門　E-mail: mem@ipsj.or.jp　Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員（20 ～ 50口）

（株）日立製作所

富士通（株）

日本電気（株）

三菱電機（株）

（株）サイバーエージェント

日本アイ・ビー・エム（株）

●●● 賛助会員（10 ～ 19口）

（株）リクルートホールディングス

グーグル（株）

（株）NTT ドコモ

（株）東芝

日本電信電話（株）

日本マイクロソフト（株）

●●● 賛助会員（3 ～ 9口）

NTT データ（株）

（一財）インターネット協会

（一社）情報通信技術委員会

グリー（株）

楽天（株）

情報サービス産業協会

トレンドマイクロ（株）

TT コムウェア（株）

NTT テクノクロス（株）

（株）うえじま企画

沖電気工業（株）

三美印刷（株）

（株）セプテーニ

ソニー（株）

チームラボ（株）

パナソニック（株）

（株）フォーラムエイト

（株）レコチョク